

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010070

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道防雪柵設置事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	防雪柵設置・撤去延長		#N/A	
事業目標	3,327m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	○防雪柵の設置・撤去総延長 L=3,327m ・北幌内7号線外5路線の吹溜式防雪柵の設置撤去延長 L=2,984m ・音稲府6号線外4路線の吹払式(固定式)防雪柵の草地出入口部の設置撤去延長 L=343m	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)
	事業費(千円)	10,100	1,800	2,000	2,100	2,100
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	10,100	1,800	2,000	2,100	2,100	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,641	1,741	1,900	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	3,641	1,741	1,900			
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	665.4m	665.4m	665.4m	665.4m
		年度達成率	97%	95%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	17%	36%	36%	36%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	町道防雪柵設置事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者	作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	防雪柵設置延長・撤去延長	
【抱える課題やニーズは】	吹き溜まりによる交通障害	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	冬期間の吹き溜まりが激しい路線の円滑な交通	① 防雪柵設置延長・撤去延長 /防雪柵設置延長・撤去延長	目標年度	平成26年度
			目標値	665.4 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	冬期間の吹き溜まり路線の交通及び安全性の確保	②	実績値	665.4 m
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①設置は民間業者による工事の実施	防雪柵の設置は、入札により民間業者に工事発注し実施した。		
	②撤去費は直営で実施	防雪柵の撤去は、直営により機械をリースし、派遣運転手、添乗員及び民間業者の作業員により実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	冬期間の吹き溜まりの激しい路線箇所に防雪柵を設置し、円滑な通行の確保と除雪作業の効率化のためには、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、円滑な通行の確保と除雪作業の効率化が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	防雪柵の設置により吹き溜まりの解消が図られ、除雪費用が軽減されたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	冬期間の吹き溜まりの激しい路線に防雪柵を設置し、円滑な通行を確保できたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り防雪柵を設置し円滑な通行が図れたことは、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
除雪路線の円滑な通行確保と除雪作業の効率化のために、吹き溜まりの激しい路線箇所の防雪柵設置は必要であり、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止